

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成26年4月22日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 平成26年度「省エネルギー等国際標準化・普及基盤事業」に採択されました
2. 「最上義光宛行状」を発見しました！

お 知 ら せ

1. 理学部地球環境学科野外巡検でハワイ大学マノア校を訪問
2. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』の開催
3. 「がくちょうせんべい」の販売を開始します

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成26年5月8日(木)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成26年4月22日
山形大学

平成26年度「省エネルギー等国際標準化・普及基盤事業」 に採択されました

経済産業省が公募した「省エネルギー等国際標準化・普及基盤事業（省エネルギー等国際標準共同研究開発・普及基盤構築）」のテーマ「有機EL照明の性能評価等に関する国際標準化・普及基盤構築」について山形大学が実施者として採択されました。

	有機EL照明の性能評価に関する国際標準化・普及基盤構築
事業期間	3年間
委託予算額	総額 1億2000万～1億5000万円（見込） 5200万円/初年度
事業内容	<p>照明分野においてLED照明につぐ次世代の省エネルギー照明と期待される有機EL照明については、発光の均一性や光束維持特性などの性能を適正に評価できる方法が確立していない。</p> <p>本事業では、<u>照明用有機ELの性能評価方法を開発し、CIE（国際照明委員会）に国際標準提案を行うとともに有機EL照明の製品評価・認証を行いうる技術・環境の整備を実施する。</u></p>

◆事業概要（省エネルギー等国際標準化・普及基盤事業）

この事業は、トップスタンダード制度*の活用可能性を含め、我が国が強みを持つ省エネルギー等に資する分野について、国際標準化に必要な作業項目を調整しつつ、複数の者による共同プロジェクトにより実施した上で、国際標準原案の作成・提案を行い、必要に応じて開発した国際標準の普及基盤構築を目的としています。

平成26年度は、省エネルギー等国際標準共同研究開発・普及基盤構築では、11のテーマについて実施者の公募がありました。

※トップスタンダード制度：迅速性等が求められる国際標準化提案について、国内審議団体での調整を経ずに、JISC（日本工業標準調査会）が直接国際標準化提案する仕組み。

◆提案内容

- 目的

国際標準化活動として日本主導の標準化を目指すとともに、将来的に有機EL照明の実用化が進んだ時に必要となる、パネルの性能評価を行う認証・認定機関を、山形大学のイノベーションセンターに整備することを目的としています。
特に後者は、有機EL照明パネルの性能評価を行うことができる正規の機関として、日本初の施設となることが期待されています。

- 研究リーダー

山形大学大学院理工学研究科

有機エレクトロニクス研究センター標準化ラボラトリー ディレクター

山内 泰樹 教授

- 参画機関

(一社) 日本照明工業会、(一社) 日本照明委員会

- 概要

照明用有機ELパネルの性能評価に際して必要な測定・測光技術に関する国際標準化提案を行う。また、将来的に有機ELパネルの性能評価を行う機関の設立に向けた環境の整備を行う。

- 実施項目

国際標準化の活動

国際照明委員会(CIE)へのOLEDパネル性能評価に向けた提案

- ・ 光束維持特性評価方法
- ・ 均一性評価方法 など

有機ELパネルの認証認定センターの設立に向けた整備@INOEL

- ・ 積分球(3m)、配光測定装置など性能評価に必要な設備の導入



お問い合わせ先

理工学研究科 教授 山内 泰樹

電話： 0238-26-3346

e-mail: yamauchi@yz.yamagata-u.ac.jp

追加資料

山形大学 山内 泰樹

【役割分担】

○山形大学：

- ・ 全体のとりまとめ
- ・ 標準化に向けた技術開発，研究
（含む，国内関連企業やエキスパートからなる委員会のとりまとめ）
- ・ 国際標準提案の原案作り（他団体と協力）
- ・ 有機 EL 照明パネルの認証・認定機関の整備

○日本照明工業会：

- ・ 国際電気標準会議（IEC）への提案

○日本照明委員会：

- ・ 国際照明委員会（CIE）への提案を担当

【スケジュール】

2014 年度：

- ・ 認証・認定機関の整備開始（～2016 年度）
- ・ 標準化提案活動（～2016，7 年まで継続）

2015～17 年：有機 EL 照明関連の標準化規格が順に成立（見込み）

2017～18 年度：認証・認定機関の稼働（有機 EL 照明の規格の JIS 化を受けて）

平成26年4月22日
山形大学

「最上義光宛行状」を発見しました！

個人蔵の慶長17（1612）年5月9日付「最上義光宛行状」を発見しました。

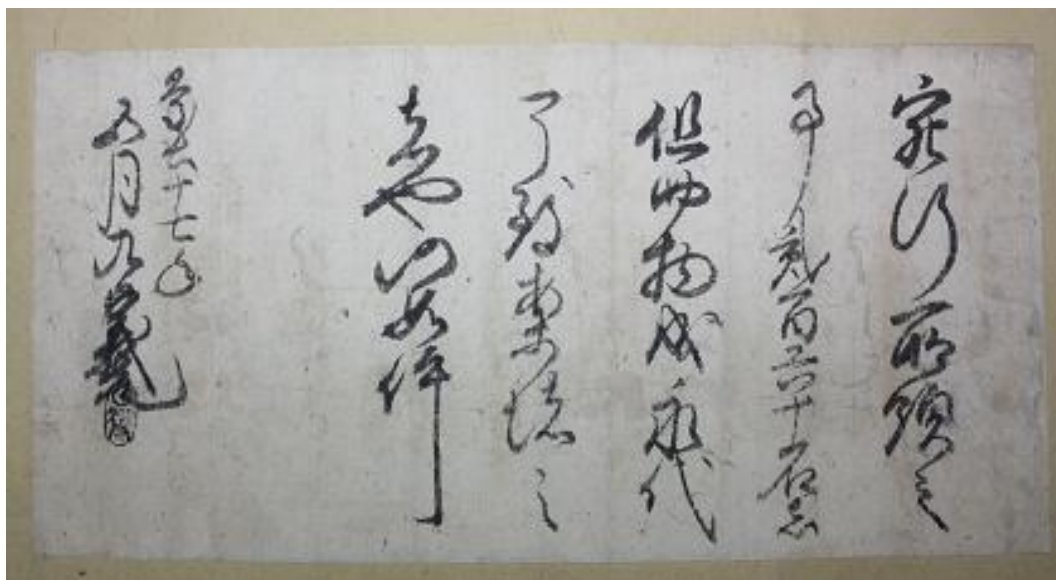
概要

昨年は、最上義光没後400年にあたったこともあり、最上義光の事績に注目が集まっています。そうしたなか、山形大学都市・地域学研究所*は、「山形偉人再発見プロジェクト2013」の成果として、最上義光が武士（某）に260石の土地を宛行った（支配を認めた）内容の文書を新たに発見しました。それは、従来、知られていなかった文書です。今回は、その文書も借りだして紹介します。

また、写しですが、74点もの未紹介最上義光文書〈慶長17（1612）年6月4日附最上義光寄進状写〉、さらに、既知のものですが、慶長17（1612）年6月4日附最上義光寄進状（今野悦郎氏所蔵）と天正14（1586）年？正月7日附最上義光書状（大塚勝夫氏所蔵）の現物も紹介します。

いずれも、6月28日（土）午後1時から基盤教育222教室で開催する「最上義光講演会」（講師松尾剛次）の際に、本学小白川図書館で一般公開します。

*山形大学都市・地域学研究所：自主的共同研究の推進を支援し本学の研究活動の活性化を図るために、社会的要請の高い分野などにおいて、学部を横断した自主的共同研究を行う組織、「山形大学バーチャル研究所」の一つとして認定されている。「都市・地域学」に関する総合的かつ学際的研究を行っている。



内容

宛行所領之事、二千六百六十石、但四物成、永代可致案堵之者也、仍如件

慶長十七年五月九日

義光（黒印）

（宛名なし）

訳

宛行う（授与する）所領について。生産高が260石で、ただし年貢率は4割です。

永久に安堵（保証）します。

慶長17（1612）年5月9日

最上義光

（お問合せ先）

人文学部人間文化学科・教授 松尾剛次（まつおけんじ）

電話：023-628-4917

Mail: kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

①

宗之

子

伯

子

子

子

(2)

心平氣和

此三言

不問

法

何

壽

也

壽

用

也

(3)

萬壽無疆

長生不老

福祿壽喜

財源廣進

出入平安

吉祥如意

百無禁忌

萬事如意

如神

萬事如意

出入平安

萬壽無疆

長生不老

福祿壽喜

財源廣進

出入平安

④

有法不傳

如沙石之流

物成附其流

性動其流也

可仰

如海

有法不傳
如沙石之流

有法不傳

如海

⑤

1954年11月14日

为灯台信

村 信石

系 信石

信石

永年 信石

信石

延 信石

信石

信石

信石

信石

信石

一 乃能河内使物耕 武格八原并第谷
不但求治以政方乃也 永年并美也
下 乃能河内使物耕 武格八原并第谷

考全上七〇 乃能河内

六行四 義元

乃能河内

乃能河内

内容

① 最上義光宛行状（本楯大物忌神社所蔵）

宛行所領之事、貳百六十石、但四物成、永代可致案堵^{（アヌ）}之者也、仍如件
慶長十七年五月九日 義光（黒印）
（宛名なし）

訳

宛て行う（授与する）所領について。生産高が260石で、ただし年貢率は4割です。永久に安堵（保証）します。

慶長17（1612）年5月9日 最上義光

② 最上義光寄進状

為神前掃除等之料、三石壺斗四舛六合四夕之所、但半物成附置候、弥可抽勤節者也、仍如件

少将出羽守

慶長十七年

六月四日（黒印）

田川湯村大日

すわ大夫

③ 最上義光寄進状

御寺領合百三拾八石八升四合、但半物成、此内七拾九石四合者、添川之内ニ有之、其外者倉米ニ而進之候、永算万安、禱当家之延長可給者也、仍如件

少将出羽守

慶長十七年六月四日

義光（黒印）

庄内鶴岡

常念寺

④ 最上義光寄進状

為神前掃除之料貳石之所、但半物成、附置候、弥可抽勤節者也、仍如件

少將出羽守

慶長拾七年

六月四日 (小黑印)

下山添村之

八幡役者免

⑤ 最上義光寄進状

為灯明供物之料、貳拾石八斗七升之所、但半物成令寄進候、永算万安、可被奉祈当家之延長者也、仍如件

慶長十七年

少將出羽守

六月四日

義光印 (小黑印)

井岡村

觀音仏供灯明分

⑥ 最上義光書状

急度□ (令力) 啓之候、先刻□□□□□□被指登候□ (処力) 巨細得其意候、輒鮭延ニ相詰候人馬令勞驥之間、就為休息、成□慮ニも出勢之儀之事、我々為代官氏尾 (氏家尾張守) □□□□□之条、少延 (遠) 慮申候、何様廳而諸勢可指遣候、夫迄之儀、餘日有間布候得共、先以人数少々可相下之由氏尾へ申付候間、少勢之事者、近々可致下着候、定具成儀者、從氏尾所可被及□ (理力) 候歟、其内之儀、追々後 (力) 軍可相下之条、可心安候、此度之申事候、一味中引廻、堅固之備專一候、兼亦安修 (安藤修理) 煩氣之由相聞候、笑止存候、從其元行々可被掛詞事肝要候、委曲彼者万々□ (可力) 有容子之間、不能詳候、恐々謹言、

(天正十四 (一五八六) 年力) 正月七日 義光 (鼎形黒印)

東禪寺筑前守殿へ

<大塚勝夫氏所蔵>

最上義光 講演会

78点の新発見文書をふまえ、新しい最上義光像を構築します。

開催日時：2014年6月28日（土）13:00～15:00

開催場所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育院2号館 222教室

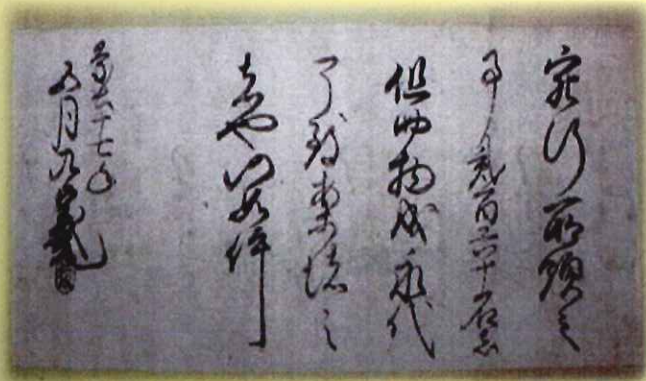
入場料：無料（但、資料代300円）

講師

松尾 剛次(山形大学都市・地域学研究所所長)

最上義光再考 —78点もの新発見文書を使って—

最上義光 知行宛行状 酒田市本楯・大物忌神社蔵



先着200名 事前申込が必要です
受付開始2014年5月12日～

[お申込み・お問い合わせ先]

〒990-8560

山形市小白川町1-4-12

山形大学都市・地域学研究所

(人文学部松尾研究室)

TEL・FAX 023-628-4917

kmatsu@human.kj.yamagata-u.ac.jp

二〇一四年度山形大学都市・地域学研究所

賛助会員（敬称略）

山形建設株式会社

宝光院

株式会社山形銀行

山形バナソニック株式会社

トヨタカラー山形 株式会社

安国寺

株式会社シエルター

株式会社三陽製作所

株式会社シベール

株式会社カキザキ 山形国際ホテル

坂部印刷株式会社

株式会社山形グランドホテル

岩淵幸太郎

三品隆昭

平成26年4月22日

山形大学

※ 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 理学部地球環境学科野外巡検でハワイ大学マノア校を訪問

理学部地球環境学科の野外巡検で、30名（教員4名、学生26名）が、4月1日、2日に、ハワイ大学マノア校海洋学・地球科学・テクノロジー学部（SOEST）を訪問しました。理学部とSOESTは、2012年3月に学術交流協定を締結し、SOESTから教授を招聘したり、本学の大学院生を派遣したりと交流を深めてきました。

今回は、ハワイの火山研究の第一人者であるガルシア教授から、ハワイの火山活動に関する特別講義を受け、また、その前日にはダイヤモンドヘッドに行き、地層や火山地形を見ながら、この火山の噴火様式や発達過程について詳しい説明をしていただきました。現地において火山噴出物を目の前にしながら、国際的に活躍している教授からの説明を受け、また講義を受講したことは、参加者の国際学術交流への意識向上に非常に効果があったと思われます。

2. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』の開催

「大学コンソーシアムやまがた」では、「もう一つの人づくり」を実現するため、「山形県の人・モノ・地域作り」をテーマにそれぞれの得意分野で活躍している第一人者の目線で皆さまにわかりやすくお話する講話「やまがた夜話」を開催しています。

5月は、「映画と地域：映画を用いた地域の記録と地域づくり」～山形で進む様々な映画化の取組から～をテーマに4回シリーズで開催します。

◆日時：5月 7日 「山形から映画つくろう～映像文化創造都市山形を目指して」

高橋 卓也 氏（山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局長）

5月14日 「地域おこしの先駆者・松田甚次郎を主題とした映画制作について」

斎藤 剋範 氏（山形土に叫ぶ振興会代表）

5月21日 「地域医療に生涯を捧げた女医志田周子について」

佐藤 耕二 氏（西川町大井沢区長／西川町町議会議員）

5月28日 「いしゃ先生～町おこし映画制作にかける想い」

あべ 美佳 氏（脚本家・小説家）

※全回 水曜日 18：30～19：30

◆場所：ゆうキャンパス・ステーション（山形市：山形むらきさわビル1階）

◆対象：高校生・学生・一般市民 定員50名（参加費は無料）

3. 「がくちょうせんべい」の販売を開始します

小山学長の似顔絵イラスト入り「がくちょうせんべい」が完成し、明日、4月23日(水)から各キャンパス山形大学生協店舗で販売します。

「がくちょうせんべい」は、アーモンドスライスがちりばめられた、ゴマが香る洋風のおせんべいで、山形大学の職員や学生がデザインした仙道元学長、結城前学長の似顔絵イラスト入りのバージョンが販売されていました。

小山学長のイラストも、本学の地域教育文化学部4年生の渋谷 亮太さんのデザインです。今回の商品には、山形県産米のつや姫米粉も使用され、おせんべいの表面には山形県産紅花フレークがちりばめられ、より一層「山形」らしいものになっています。

これまでと同様に、売り上げの一部を山形大学学生支援基金に寄付していただき、学生の奨学金として活用させていただくことになっています。各キャンパス山形大学生協店舗の他に、インターネットでの販売も行います。

平成26年4月22日
山形大学

理学部地球環境学科野外巡検でハワイ大学マノア校を訪問

理学部地球環境学科の野外巡検で、教員4名と学生26名が、4月1～2日に、ハワイ大学マノア校海洋学・地球科学・テクノロジー学部を訪問しました。

◆背景

山形大学理学部とハワイ大学マノア校海洋学・地球科学・テクノロジー学部（SOEST）は、2012年3月に学術交流協定を締結しました。その後、SOESTからの教授の招聘や、山形大学の大学院生の派遣を行い、交流を深めています。今回は、地球環境学科の野外巡検の中でSOESTを訪問しました。

◆訪問概要

4月2日に総勢30名でSOESTを訪問し、ハワイの火山研究の第一人者であるガルシア教授から、ハワイの火山活動に関する特別講義を受けました。2012年にはガルシア教授を本学にお招きし、特別講義などをしていただいています。ハワイの火山の配列や成長過程、それらの要因、火山をもたらしたマグマの発生機構、ハワイの火山に関する最近のトピックスなどについて説明いただきました。その後、約30分間にわたって活発に質疑応答がなされました。

前日の4月1日には、ガルシア教授同行のもと、タフリングの代表であるダイヤモンドヘッドに行き、地層や火山地形を見ながら、この火山の噴火様式や発達過程について詳しい説明をいただきました。

現地において火山噴出物を目の前にしながら、国際的に活躍している教授からの説明を受け、またハワイ大学において講義を受講したことは、参加者の国際学術交流への意識向上に非常に効果があったと思われます。

また、同行した教員とガルシア教授をはじめとする関連スタッフとで会合を持ち、今後の共同研究の進め方などについて種々打ち合わせを行いました。今後も地道に学術交流を続ける予定です。

ダイヤモンドヘッドにおいてガルシア教授の説明を受ける様子



ガルシア教授の講義受講の様子

（お問合せ先）
理学部地球環境学科
教授 伴 雅雄
電話 023-628-4642

やまがた夜話

テーマ「映画と地域：映画を用いた地域の記録と地域づくり」
～山形で進む様々な映画化の取組みから～

5月 7日 (水)

18:30～19:30

「山形から映画つくろう

～映像文化創造都市山形を目指して」

高橋 卓也 氏 (山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局長)

5月14日 (水)

18:30～19:30

「地域おこしの先駆者・松田甚次郎を

主題とした映画制作について」

斎藤 剋範 氏 (山形土に叫ぶ振興会代表)

5月21日 (水)

18:30～19:30

「地域医療に生涯を捧げた女医

志田周子について」

佐藤 耕二 氏 (西川町大井沢区長/西川町町議会議員)

小林 彰 氏 (大井沢小学校元教諭)

5月28日 (水)

18:30～19:30

「いしゃ先生～町おこし映画製作にかける想い」

あべ 美佳 氏 (脚本家・小説家)

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらさきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民
定員: 50名

入場無料

お申し込み 電話又はチラシ裏面の参加
申込書に必要事項を記入の
上Fax、郵送、メール等でお
申し込みください。



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階
Tel: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820
E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



大学コンソーシアムやまがた



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。
	<input type="checkbox"/> 平成26年 5月 7日(水) 講師: 高橋 卓也 氏
	<input type="checkbox"/> 平成26年 5月 14日(水) 講師: 斎藤 剋範 氏
	<input type="checkbox"/> 平成26年 5月 21日(水) 講師: 佐藤 耕二 氏 小林 彰 氏
<input type="checkbox"/> 平成26年 5月 28日(水) 講師: あべ 美佳 氏	
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成26年4月22日
山形大学

「がくちょうせんべい」の販売を開始します！

小山学長の似顔絵イラスト入り「がくちょうせんべい」が完成しました。
4月23日(水)から、各キャンパス山形大学生協店舗で販売します。

1.がくちょうせんべいとは

がくちょうせんべいは、アーモンドスライスがちりばめられた、ゴマが香る洋風のおせんべいで、これまで仙道元学長、結城前学長の似顔絵イラスト入りのバージョンが販売されており、いずれも帰省時のお土産等として親しまれてきました。

そして、この度小山学長の似顔絵イラスト入りのがくちょうせんべいが完成し、4月23日(水)に販売を開始します。

2.商品の特長

- ・歴代のがくちょうせんべいの似顔絵イラストは、山形大学の職員や学生がデザインしたもので、今回の小山学長のイラストも、地域教育文化学部 4年生の渋谷 亮太(しぶや りょうた)さんにデザインしていただきました。
- ・今回の商品には、原材料の一部に山形県産米のつや姫米粉を使用し、おせんべいの表面に山形県産紅花フレークをちりばめ、より一層「山形」らしく味わい深いおせんべいになっています。
- ・これまでと同様に、売り上げの一部が山形大学学生支援基金に寄付され、学生の奨学金として活用されます。

3.商品の購入方法

- ・販売開始日：2014年4月23日(水)
- ・販売場所：山形大学生協同組合 各店舗
- ・価格(税込) ※6枚、12枚、24枚、30枚はいずれも箱入りです

1枚	121円
6枚入	878円
12枚入	1,651円
24枚入	3,220円…インターネット販売限定
30枚入	3,720円…インターネット販売限定

※営業時間、インターネット販売の詳細は山形大学生協ホームページをご参照ください

(お問合せ)

山形大学生協同組合 小白川店コンビニ Ciel(シエル)
電話:023(641)8662 営業時間:平日8:30-18:30
担当:河野、森川

お土産に
おすすめです

山形大学
小山清人学長



がく
くち
ょう
せん
べい

がくちょうせんべいとは?!

アーモンドスライスがちりばめられた、ゴマが香る洋風のおせんべいです。

山形県産米つや姫米粉使用・山形県産紅花使用



山形大学各キャンパス内
山形大学生協店舗にて販売中!

CO-OPのふるさと便

24枚、30枚入はインターネット
からもご注文いただけます。

山形大学生協 ショッピング

検索

小白川店 023-641-8662

(シエル) 内線4929 平日8:30~18:30 土曜日10:00~14:00

医学部店 023-642-4590

内線5960 平日9:30~18:00

工学部店 0238-21-2713

内線3432 平日9:30~19:45

農学部店 0235-25-6993

(ヴェール)

内線2971 平日10:00~17:00



※各店舗の営業時間は変更することがございます。山形大学生協ホームページにてご確認ください。